

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成23年6月)

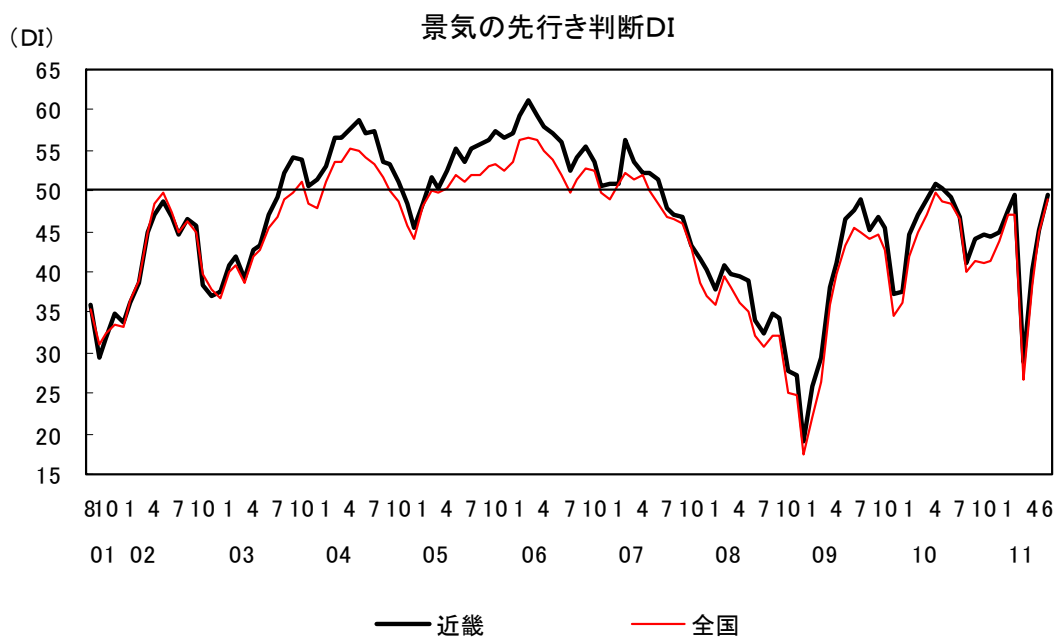
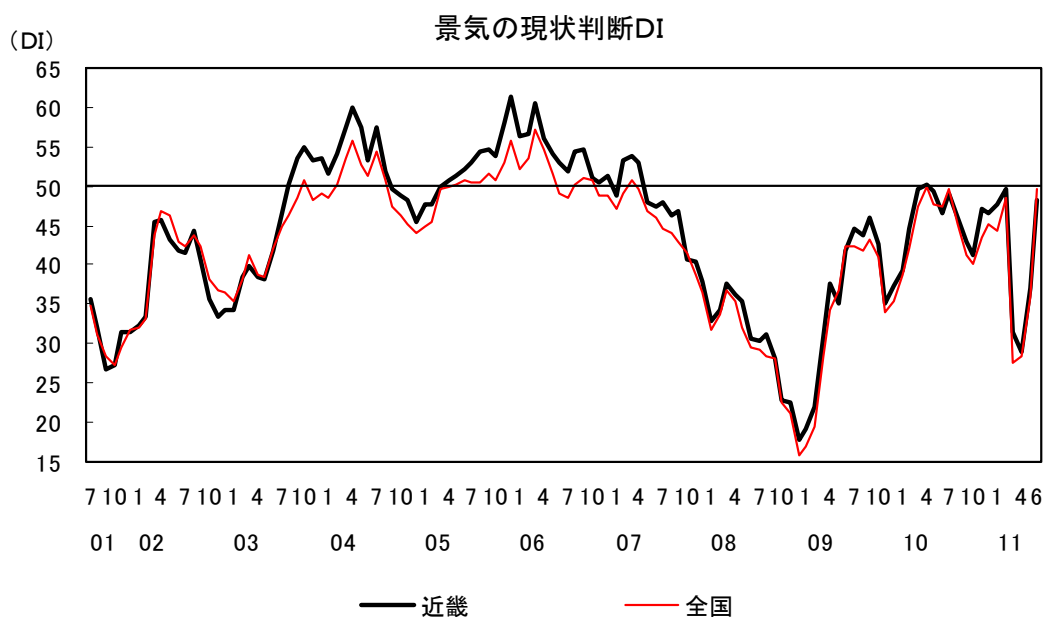
～現状判断は過去最大の上昇幅～

- 景気ウォッチャー調査・6月調査の近畿地域の結果(現状判断[方向性])は、2ヶ月連続の上昇、先行き判断も3ヶ月連続の上昇となった。特に、現状判断は前月差でプラス11.0ポイントと、過去最大の上昇となっている。
- 現状判断については、消費の自粛ムードの緩和、サプライチェーンの復旧といった震災後の落ち込みからの回復に加え、6月上旬に関西でも節電要請が出されたことで、関連商品の売上が大きく伸びたことなどが追い風となっている。
- この節電関連商品の好調については、クールビズなどの衣料品や、LED電球、扇風機などの家電のほか、うちわやすだれ、寝具など、幅広い分野で需要の増加がみられる。
- 一方、先行きについても、震災後の落ち込みからの回復傾向に加え、節電関連商品の好調が続くとの見方もあり、見通しの改善が続いている。ただし、節電関連の需要が一巡した後を不安視する声や、節電自体が消費マインドを押し下げるといった声が多いことも事実である。
- また、小麦関連の物価上昇、地上デジタル放送への完全移行に伴うテレビの需要低下、復興事業の遅れといったマイナスの要素も多く、今後も不透明感の強い状況が続くことに変わりはないとみられる。

◎「省エネ」、「節電」関連のコメント(現状判断のみ)

やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・気温の上昇や節電意識の高まりに伴い、ファッション関連はブラウスなど軽衣料の動きが中心となり、1品単価は低下しているが、販売点数は前年や3か月前の水準を上回っている。
	百貨店(マネージャー)	・商品ごとに動きの良し悪しに分かれており、1品単価は依然として厳しさが目立つが、省エネ関連やエコ関連、クールビズ関連の商材は動きが良い。また、不要不急の消費を抑える動きには変化はみられないが、東日本大震災以降の消費を自粛する雰囲気はなくなっている。
	スーパー(店長)	・東日本大震災の影響で未入荷になっていた商品も、たばこ以外はほとんど入荷が始まっており、それに伴って特売も復活しつつある。また、地上デジタル放送への完全移行に向けて、テレビの駆け込み需要が売上を大きく引っ張っている。さらに、LED電球や扇風機といった節電、省エネ関連商品も、異常といえるほど好調に動いている。
	スーパー(企画)	・今月下旬の急激な気温の上昇により、冷感・涼感商品が活発に売れ出している。特に、関西電力から15%の節電が要請された後は、扇風機や涼感機能肌着、制汗剤などが売れている。今月中旬以降、真夏日となる日が多いことも、売上が上向きつつある要因となっている。
	電気機械器具製造業(企画担当)	・省エネ、節電対応の消費が増えているため、それに伴って受注量も好調に推移している。
変わらない	百貨店(サービス担当)	・今月の来客数は前年並みであるが、新しい商業施設の開業効果もあり、初めて来店する客が増えている。また、節電対策として、扇風機やうちわなどの需要も増えている。
	百貨店(婦人服)	・ゴールデンウィーク前の大型商業施設のオープンにより、消費は活発になったが、梅雨入り以降は厳しい状況となっている。また、節電の動きが広がりつつあるため、環境は厳しさを増している。
	スーパー(広報担当)	・関西電力による節電要請と急な気温上昇が重なり、扇風機やすだれ、涼感寝具やクールスプレーといった省エネ・涼感商材の動きが非常に活発となっている。
	スーパー(社員)	・今年は例年よりも、扇風機や夏物寝具、肌着などの涼感商品の動きが良い。ただし、5、6月は雨が多かったこともあり、全体としては買物が少なくなっている。
やや悪	家電量販店(経営者)	・節電意識の高まりで、省エネ商品の販売が増えているほか、テレビの駆け込み需要もみられるが、景気が良くなっているわけではない。
	一般小売店[事務用品](経営者)	・省エネ商品などの販売増が期待されたが、扇風機は品切れになるなど、売りたいくても売れない状況である。また、消費者の間で支出が特に増えている感もない。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

	年	09												10												11											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6						
現状判断	近畿	41.7	44.5	43.8	46.0	42.7	35.2	37.3	39.4	44.6	49.5	50.2	49.4	46.7	49.1	46.1	42.8	41.2	47.0	46.7	47.8	49.6	31.5	28.9	37.2	48.2											
	(全国)	42.2	42.4	41.7	43.1	40.9	33.9	35.4	38.8	42.1	47.4	49.8	47.7	47.5	49.8	45.1	41.2	40.2	43.6	45.1	44.3	48.4	27.7	28.3	36.0	49.6											
先行き判断	近畿	47.7	48.9	45.2	46.7	45.5	37.2	37.6	44.7	47.2	48.9	50.9	50.2	49.2	46.8	41.2	44.2	44.5	44.3	45.0	47.6	49.5	28.8	40.2	45.2	49.4											
	(全国)	45.6	44.9	44.0	44.5	42.8	34.5	36.3	41.9	44.8	47.0	49.9	48.7	48.3	46.6	40.0	41.4	41.1	41.4	43.9	47.2	47.2	26.6	38.4	44.9	49.0											